

36 . 隠遁者と二匹のうじ虫

フィリピンには、50以上の火山がありますが、それは環太平洋火山帯の上にあります。幸い、それらのほとんどは、休眠火山が活動していないものです。それらの少しが、アルバイ州のマヨン山、タガイタイ州のタール山、ネグロス島西側のカンラオン山です。最後に名前があがった火山は、1978年に噴火しました。

昔、カンラオン山の斜面に、ひとりの隠遁者が住んでいました。彼は大変聖なる人物でした。彼は神と話をする仲であったが、まだ神の顔は見ることはできない、と言われていました。

彼は大変年老いていました。彼の髪は白く、あごひげは、膝まで垂れていました。

彼の家は暗い洞窟で、彼はたまにしかそこを出ませんでした。彼はほとんどの時間を祈りと黙想に使い、ほとんど寝ませんでした。

彼が洞窟を出るのは、野生の食べ物を獲りに行く時だけでした。彼は、ほとんど神様の恵みによって存在していました。

彼の洞窟のすぐ外では、地面の上に腐った木の幹があり、その中に、2匹のうじ虫が住んでいました。

「私の最大の願いは世界を見ることだ。」と大きい方のうじ虫が、ある日、彼の仲間に言いました。

「でも、どうやってそれができる？」ともう一匹が答えました。「我々は、ここで生まれ、そしてここで死ぬんだ。これが我々うじ虫の運命なんだ。」

「ちょっと待て、見ろ」最初のうじ虫が言いました。「一つ考えがある」

そして、その日、隠遁者が野生の果物を探して、洞窟から出てきた時、彼は急に声を聞きました。「気をつける！」とその声は言いました。「我々を踏みつけるな！お前は我々を潰そうとしている！」

「ああ、ごめんなさい。」とその隠遁者は言いました。「太陽で、見えなくなっていたんだ、私の暗い洞窟から出てきたところだったので。」

「言い訳だ、言い訳だ。」とその声は答えました。

36 . 隠遁者と二匹のうじ虫

「あなたは弁解によって私を騙すことができない。すべての人のように、あなたは、何が私達に起こるかを気にしていない。」

「君は誰だ？」とその隠遁者が問いました。

「私には君が見えない」

「ここだよ。」

「どこ？」

「ここ！ここ！」その声は、叫んでいるようでした。

「見えないのか？お前は盲目なのか？」

「本当にごめんなさい。私は近眼なんだ。」

その隠遁者は膝き、地面を調べました。そして、彼は二匹のうじ虫を見つけました。やわらかく、脂っこい虫でした。一匹は、隠遁者の足の親指くらい、もう一匹は、彼の手の親指くらいのおおきさでした。

「私には、あなたが私達を軽蔑しているように見える。」といい気なうじ虫が言いました。彼がすべて語っていました。「あなたは他の人々と全く同じだ。もう二度と私達を踏み殺すことを考えないでくれ。」

「しない、しない。」と隠遁者は言いました。「私は生き物に危害は加えない。」

「あなたは例外にはなれない。すべての人間は残酷でうそつきだ。」

「どうして、それを知っているんだ？」

「私は、残酷な人間についての沢山の話を聞いてきたし、そのことを自分自身の目で見てきたんだ。たいいていの漁師は、私たちの同属に対して、釣り針にえさをつける。猟師たちは、食物と娯楽のために動物を殺す。どうして、人々はお互いに対してさえ、全く理由もなく殺しあうんだ？」

「いろんな人間がいるんだよ。」と隠遁者は答えました。

「そうだ、私はいままでにそんな人たちを見てきた。」

「そうだろうね。私は、あなたを人間の男に、そしてあなたの仲間を人間の女に変身させてあげよう。」その隠遁者が、短いお祈りを唱え、次の瞬間には、そのうじ虫たちは、男と女に変えられました。

彼は、彼らを祝福して言いました。「出て行って、人々の中で生活しなさい。」

「ありがとう、ありがとう。」そのふたりは声をそろえて言いました。「わたしたちは、このこと

フィリピン 神話と伝説

をしてくれたあなたを忘れないでしょう。」

ふたりは行って、人々の中で生活しました。最初に、男は農業をやってみました。彼は小さな土地を耕しましたが、彼の畑では、すばらしい作物が育ち、わずかの期間に、彼は裕福になりました。すると彼はその土地を出て、町に住みました。彼は商人になりました。そこで彼はもっと裕福になりました。彼が試みたものはすべて幸運に恵まれました。そしてたった6年で、彼はその町のもっとも裕福な者のひとりになりました。

人々は彼のことを、ドン・ペドロ、彼の妻を、ドナ・ジュアナと呼びました。彼らはもう働く必要はありませんでした。彼らには何十人もの僕がいました。彼らの新しい家は、その州の最も大きく美しいもののひとつになりました。それは宮殿のようでした。

彼らは、どこへ行くのにも、美しい馬たちが引く、輝く馬車に乗って行きました。彼らは最高の、高価な服を着ていました。また、贅沢な宝石と装飾品を身に着けていました。

しかし、彼らには友人がいませんでした。彼らが自分たちの家に招待したり、また招待される人々は、たいへんなお金持ちか、貴族か、政府や教会で、高い地位を占めている人々でした。

そしてある日、ドン・ペドロとドナ・ジュアナが彼らの家でパーティーを開いていると、彼らの最も年取った、信頼されている僕が近づいてきて、震える声で、誰かが彼らに会いたくて玄関に来ていることを告げました。その年取った僕はもちろん彼らに近づくことをひどく恐れていました。他の僕たちはだれも、そのような時に彼らに、思い切って話しかけることなど考えもしませんでした。

実際、ドン・ペドロとドナ・ジュアナは、怒りで彼を叩き殺したくなっていました。「あなたはそんなささいなことで、わたしたちを煩わせるのですか？」と彼らは言いました。

「わたしたちは彼にコメや金を、彼が去るためには何でもやりました」と年取った僕は言いました。「しかし、彼はあなたがたふたりに会うまでは、出てゆくことを拒みませんでした。」

「私たちには、彼のために時間などない。彼は私たちに会って、何がほしいのだろう。」とドン・ペドロが言いました。

「彼は私たちには言いません。」

「彼を追っ払え。犬にけしかけさせろ。」

「私たちは、それをやりましたが、彼は出てゆきません。」

「それなら好きなだけそこに留まらせておけ。直ぐに疲れて、出てゆくだろう。」

「しかし、彼は大勢の人を集めています。彼は町の他の物乞いとは違います。」

「よし、犬にけしかけさせよう。」

しかし、その命令が実行される前に、年取った物乞いは、お祈りを唱えました。するとすぐに美しい庭と素晴らしい家は消えてしまいました。そして、お客たちは自分たちが今は雑草の生い茂った土地にいることを知ると、急いで出てゆきました。

ドン・ペドロとドナ・ジュアナはその年取った物乞いが誰であるか、わかりました。彼らは彼のところへ行って、彼に赦しを請いました。

しかし、年取った隠遁者は、彼らの懇願に心を留めませんでした。彼は彼らを以前の姿に戻しました。二匹の柔らかな、太ったうじ虫に。

練習問題

語彙の学び

次の単語の意味を調べなさい。それぞれの単語を使って、文章にしなさい。

- 1 . hermit
- 2 . meditation
- 3 . grace
- 4 . maggot
- 5 . cruel
- 6 . deceitful
- 7 . mumbled
- 8 . Transformed
- 9 . aristocratic
- 10 . magnificent

物語を理解する

正しいか、間違っているか、答えなさい。

- 1 . 隠遁者は神と話せると言われている。
- 2 . 隠遁者は、ほとんどの時間を祈りと黙想に使う。
- 3 . 二匹のうじ虫は、隠遁者の洞窟で生活していた。
- 4 . 隠遁者は、二匹のうじ虫を男と女に変えた。
- 5 . 男は、漁師を最初の仕事にした。
- 6 . そして、彼は商人になった。

フィリピン 神話と伝説

7. 8年間で、男は町の最も裕福な男たちの一人になった。

8. 男と彼の妻はただ、金持ちと貴族だけを、彼らの家に招いた。

9. ドン・ペドロとドナ・ジュアナは、彼らが金持ちになると、高慢になった。

10. 罰として、隠遁者は夫婦を以前の、二匹のやわらかく太ったうじ虫に変えた。

明確化と発展の評価

1. 隠遁者は、二匹のうじ虫を男と女に変えて、男と女がたいていどんな生活をするか経験させました。辛い仕事を通して、男は大変裕福になりましたが、彼らの友人を失い、利己主義と高慢になりました。この物語を通しての道徳的な学びは何ですか？